

鳥羽市・サンタバーバラ市 中学生交換派遣事業 ホームステイ体験記

総務課秘書係 ☎(25)1105



市内の中学生4人が7月26日から8月6日まで、姉妹都市サンタバーバラ市(米国)を訪れ、8月8日から17日までサンタバーバラ市の中学生をそれぞれの家庭が受け入れました。すばらしい体験をした中学生のみなさんにそれぞれの国での体験などについて話していただきました。

交換留学生を体験して

三重中1年 奥田 僚

私が一番思い出に残っている事は、ホストファミリーとオウエン君が、優しく迎え入れてくれた事です。そして、分からない事は教えてくれました。その事が私を十日間支えてくれたのだと思います。初めの頃は少しさみしかったです。でも、言葉もほとんど分からない状況でも、最後には明るく過ごすことが出来た事に感謝しています。一番思い出に残っている行事は、フィエスタの広場の舞台上上がり、手を振ると、見ている観客の人達から大きな歓声が聞こえました。この事から、私達をサンタバーバラ市の人達が優しく迎え入れることが分かりました。今までサンタバーバラ市と鳥羽市との交流を支えてきてくださった人々のおかげだと思えます。私ももっと英語を学び、交流を支える一人になりたいです。そして、一緒に楽しい時間を過ごしたサンタバーバラ市の四人と鳥羽市の四人がずっと、仲良くいられるようにしたいです。最後に、私を留学させてくれたり、助けてくれたり、応援してくれたり、皆さん、あり

がございました。



サンタバーバラに行って学んだこと

鳥羽東中2年 佐々木未来

私がホームステイに行くと、特に印象に残っていることは、人とコミュニケーションをとることの素晴らしさです。私のホームステイ先のレジーナとその家族はメキシコの人でした。その人たちと英語で話をし、メキシコのことを教えてもらい、メキシコの料理を食べることができました。アメリカでメキシコに触れることができるとは思っていなかったのですが、貴重な経験ができたと思います。サンタバーバラに着いたばかりのときは、すごく緊張して何も話すことができませんでした。そんな私にレジーナは、自分のことや町の紹介をしてくれ、緊張がなくなっていきました。私は人と接することが得意ではありませんでしたが、様々な



人たちと接することで、自分から話しかけることができるようになってきました。ホームステイの後半は、家族にも自分から話しかけて、鳥羽や家族の紹介をして打ち解けることができました。少し自分が成長できたと思います。レジーナに日本語を教えたりもしました。教えた言葉を日常生活で使ってくれ、日本に興味をもってくれているんだと感じました。この交流を通して、自分の視野が広がった気がします。初めて自分の英語が通じたときの気持ちも、サンタバーバラでの思い出も私にとって絶対に忘れられない思い出になりました。これからも英語の勉強もがんばって、レジーナとも交流を続け、いつかまた、サンタバーバラを訪れたいです。

so wonderful summer vacation

鳥羽東中3年 中村 優

初めて行く海外への期待と日本での平凡な生活から逃られる嬉しさを胸に、僕は日本を飛び立ちました。迎えてくれたテイラー家は僕をたくさん風の船で歓迎してくれ、それを見てとても楽しい生活が待っているのだと期待が膨らみました。ステイヴンはスポーツが好きで、一緒にスイミングやサイクリングなどを楽しみました。そして毎朝6kmのジョギングをしたのは忘れられません。とても大変でしたが、日本では見られない様々な景色を見ることができ、とても気持ちよかったです。食事はなにもかもがダイナミックで、ハンバーガーやステーキはとても大きくて味も抜群で感動的でした。僕が一番心に残ったのはみんながキャンプをしたことです。キャンプ場は近くに湖があり綺麗で映画に出てきそうな所でした。みんなで夜遅くまでキャンプファイヤーを囲んで色々な話をしたり、マシユマロを焼いて食べたりしました。少しずつ英語が理解できるようになっている事が実感でき、

とてもうれしかったのを覚えて
います。お別れの時、ス
ティーヴンが「僕たちは最高
の兄弟。いつでもサンタバー
バラに来て」と言ってくれま
した。僕も「2016年にサ
ンタバーバラに戻る」と約束
しました。今回の交流事業は
英語だけでなく、人との関わ
りや絆や他にも僕にとって力
になることをたくさん学ぶこ
とができました。とても貴重
な経験をさせていただき、あ
りがとうございました。3年
後に必ずサンタバーバラに行
きたいと思います。



サンタバーバラに滞在し て思ったこと

鳥羽東中2年 山本 夏鈴

私は、一人で外国に行く
のは初めてだったので「言葉
が通じるだろうか」「ホスト
ファミリーの皆さんとうまく
やっていけるだろうか」とた
くさんの不安と初めての経験
への期待で胸をいっぱいにし
て、サンタバーバラへと出発

をしました。私が一番興味を
もっていたのは、私達と同じ
年頃の子どもが外国ではどの
ような生活をしているのかと
いうことでした。だから買
物にでかけたり、日常生活に
ふれるような経験はとても楽
しかったです。いろいろな経
験を通して、最初に心配して
いた言葉の問題や人間関係の
問題などは、いつの間にか忘
れてしまっていました。その
代わりに、「絶対にもう一度
この仲間たちと会いたい。ま
たサンタバーバラに来よう」と
いう気持ちでいっぱいにな
りました。日本に帰って来て、
受け入れる側になったときは、
サンタバーバラでの恩返しを
したいと思い、私達のことを
知ってもらおうと学校にも案
内をしました。別れの日は、
本当になごりおしくて、時間
が止まればいいと思いました。
長い時間をサンタバーバラの
中学生と共にして思ったこと
は、人種とか言葉の違いはあ
まり関係がないということ。
同じ時間を共有して、同じ経
験をすることでお互いに分か
りあえるということ。そ
して、お互いの文化を交流し、
理解することはとても大切だ
ということ。今回の経験
で、私は、将来の夢である「英

語を活かした仕事」にますま
す就きたいと思うようになり
ました。また、観光都市であ
る鳥羽市のためにも何かでき
ることがあるのか私なりに考
えていきたいと思っています。本
当にありがとうございます。



サンタバーバラから鳥羽に 来ていただいたみなさんから

■オウエン・ダウソン

(奥田家にホームステイ)

僕は日本で素晴らしい時間
を過ごしました。僕のホスト
ファミリーは優しく寛大で
したが、みなさんとても親切
で礼儀正しく、どこもかしこ
も清潔でした。水族館では、
カッコいい海の生物がたくさん
展示してあり、とても楽し
かったです。鳥羽での滞在は
本当に楽しかったです！

■レジーナ・サントス・モレノ

(佐々木家にホームステイ)
鳥羽での素晴らしい経験は

世界中の誰にも渡したくあり
ません。私のホストファミリー
はとても親切で思いやり深く、
まるで我が家にいるかのよう
に過ごしました。未来が通っ
ている中学校を訪れ、学校の
友達に会ったり、教室を見学
したりしました。私の学校と
はぜんぜん違っていて良い経
験になりました。その後、展
望台に行き、食べ物美味し
かったし、眺めが素晴らしか
つた。どこへ行っても、写
真に収めたいものがあり、思
わず微笑んでしまうものがあ
り、買いたいものがありました
た。この経験の実現のために
お手伝いして下さったすべて
のみなさんに感謝します。い
つの日かまた日本へ来るのが
待ちきれません！

■ステイーヴン・テイラー

(中村家にホームステイ)

歓迎パーティーでは、アメ
リカから来た僕たちのために
鳥羽市がいろいろと準備して
くれたのが分かり、特別な気
分になりました。パーティー
のために素晴らしいホテルを
用意してくれたからです。伝
統的な日本のダンスの披露も
素晴らしかったです。僕は太
鼓の演奏がとても気に入ら
ました。まるで自分が古来の太
鼓を叩いているような気分

になりました。そして優くんが
滞在中いろいろと僕のために
努力をしてくれてなかったら、
僕はつらい思いをしていたこ
とでしょう。この経験を通し
て僕の最もビッグなことは、
素晴らしいアメリカと日本の
友人たちを得たことです。

■カーディーナ・ヴァスケス

(山本家にホームステイ)

私は鳥羽で素敵な時間を過
ごし、それは美しく素晴らし
い経験でした。食べ物美味
しく、風景は驚くほど美しか
つた。人々はみんな親切で
礼儀正しく、安心して過ごす
ことができました。すべての
出来事が思い出深いのですが、
私たちは海に飛び込みをし、
そしてビーチで泳ぎました。
美味しいラーメンや焼きたて
の魚介類を食べました。夜に
は皆でゲームをし、とても楽
しかったです。夏鈴や山本家
のみなさんに出会えたことは
とてもラッキーで、最高の家
族と最高の時間を過ごすこと
ができました。みんなといっ
つまでも連絡を取り合って、ま
た訪れたいと願っています。

※体験記全文は、鳥羽市国際
交流協会ホームページに掲載
中です。